

私の挑戦くおばあちゃんのあけびの蔓

細工

金子 陽奈子

「こんなわらざうり、誰もいらんよねえ。」
アオーレ長岡で行われた地域活性化イベントの一角で、一つぽつんと売られていたわらざうり。作り手のおばあちゃんの一言が心に刺さりました。

「私が買う！」

でも、おばあちゃんは首を横に振りました。

同情で買うものではないと、誇りを胸に私に語ってくれました。山古志地域のわらざうりを作っている方でした。

私が住んでいる栖吉地域にもわらざうりを作っている皆さんがいらっしやいます。栖吉小学校の児童が参加する相撲大会の時に、その作り方のワークショップや作品配付、またコミュニティセンターで作品作りに尽力されてきました。「いました」過去形になってしまいました。

栖吉わらぞうりの会の活動場所を訪ねると、
昨年、メンバーの皆さんが高齢になってきた
ことを理由に、活動にピリオドを打ったこと
を聞きました。

「一歩遅かった。」

もう少し早く行動を起こしていれば皆さん
の活動を続ける道筋が見えたかもしれないの
にと後悔の思いに駆られました。

わらぞうりだけでなく、様々な地域の自然
素材で作り出す作品文化を守りたい、それだ

けでない、誇りに満ちたあの笑顔とコミュニ
テイを守りたい、その気持ちが強くなってい
きました。

まずは知り合いの多い、小学校の教員時代、
お世話になっていた魚沼地域の皆さんに持ち
かけてみました。すると、魚沼市の文化教室
であけびのつる細工を作り、その楽しさから
続けていきたいというお話をしてくれました。

私は限界集落と言われる高齢者率が優に八
割を超える地域のおばあちゃんたちに、その

笑顔と、地域のコミュニティを守っていくことを目的に定期的にあけびのつる細工教室を開催することにしました。すると、地元のおじいちゃんおばあちゃんはもちろん、新潟市や柏崎市、高柳町からも足を運んでくれる方たちがいました。一気ににぎやかになるそのひとときが地域の皆さんにとって大きな楽しみとなるだけでなく、雪が降ればおばあちゃんの所へ心配の電話が入れてくれたり、様子を見に行ったりしてくれる方が増え、一人暮らしの方にとっての大きな命綱となっす。

地域の皆さんの笑顔とコミュニティづくりのため、魚沼エリアの皆さんの活動から学んだことをさらに広げ、今後は、長岡市の伝統文化を守るため、地域の資源を使ったモノづくりの発展に微力ながら尽くしていきたいと思っています。まずは、わらぞうりの作り方を学び、次の世代につないでいくため、仲間を募り、わらぞうりから学ぶ温故知新の世界

を伝えていきたいと思います。